



川俣小学校「学校だより」

輝くひとみ

令和3年6月4日(金) 第11号

教育目標
 ☆すすんで学ぶ子ども
 ☆思いやりのある子ども
 ☆ねばり強い子ども
 ☆たくましい子ども
 発行者 校長 本名 武



ふるさと(地域)学習



地域で学ぶ、地域に学ぶ「ふるさと学習」が各教科等で行われています。これまでに3年生はからりこ館見学体験やアンスリウム農場見学を、4年生はケーナ教室に小綱木浄水場見学を、6年生は歴史探訪で寺社や史跡、歴史的産業絹織物等について見学学習を行いました。1年生は次週にさる菊園の見学を、2年生はこれから町探検等が展開されます。5年生も今後森林環境学習の各講座や昨年実施できなかったケーナ教室も予定されています。それぞれ、多くの地域の方々に講師になっていただき、座学では学べない内容等についても見識を広げていきます。この他にも川俣が誇る「シャモ」ファームの見学、「お蚕さま」の飼育、「コスキン」や「川俣の文化と歴史」等々の学びも予定されています。これらの学びを通して、ふるさと川俣に愛着と誇りをもつとともに、そこで育つ自分自身にも誇りと自信をもつことができるように、また、子どもたちが学びを通して感じたこと、考えたこと、大事にしていきたいこと等を発信できるようにしていきたいと思います。



※ 今週の川俣小学校ホームページブログに「ふるさと学習」の内容を多く載せました。そちらの方は写真も多く見やすいものになっています。日々の子どもの様子が併せてご覧いただければ幸いです。



学力向上に向けて



確かな学力がつく授業の在り方を求め、第1回授業研究を3年算数科で行いました。3桁(十の位0)ー3桁(二重繰下りの問題)をお金の模型で考えたり、解き方を文章化したりしながら自力解決し、班内で自分の解き方・考え方を発表し合い、(相手への説明がうまくいかないとき「こう考えたの?」と補い合いながら伝え合う姿も見られました。)最後に全体の前で解き方を伝えます。子どもたちの伝えたい中心がこの時間の「ねらい」そのもの。考えを文章化する、班で・全体で説明する・・・アウトプット型授業で自分の考えと取組が整い深められ確かな学力につながることを確信しました。3年生一人一人の学ぶ構えや意欲等々もすばらしかったです。